MUD

(51) PHOTOSENSOR

(11) GO-117116 (A)

(43) 24.6.1985 (19) JP

(21) Appl. No. 58-224305

(22) 30.11.1983

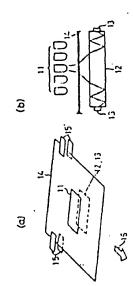
(71) FUJITSU K.R. (72) ATSUSHI AMAKO(4)

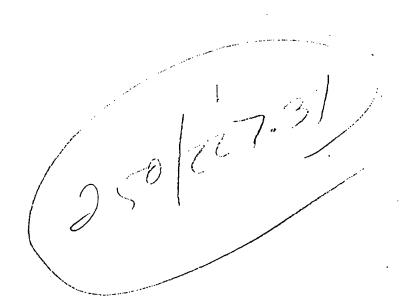
(54) Int. Cl., G01J1/02,G07D7/00//G01N21/84

PURPOSE: To reduce a number of light receptors by installing a light guide in the

light receptor.

CONSTITUTION: In a transmission-type photosensor consisting of light source and light receiver, a light receiver 12 arranged opposedly to the source 11 is installed in the light receptor 13. By transporting a medium 14 in the direction indicated with an arrow 16, transmitted light in the specified area is detected and when judgement is made as to its kind, transversal deviations are detected by transversal deviation detectors 15, 15' and by this arrangement, a LED of the source II is so selected that it irradiates only the specified area, however, regardless of the LED selected, its transmitted light is led to the light receiver 13 through the light guide 12. Consequently, comparing with the conventional product which is provided with a large number of light receptors, that embodying the invention allows reduction of the number of light receivers. Further, selection of light receptor is eliminated and the controlling method can be simplified.





炒公開特許公報(A) №60-117116

. 🛛 発明の名称 光センサ

②特 阅 昭58-224305

❷出 頤 昭58(1983)11月30日

子 횯 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内 砂発 明 者 尼 砂発 明 者 井 垣 吾 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内 誠 ● 砂発 明 者 中久喜 唯 男 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内 砂発 明 者 矢 裕 紀 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内 雄 史 川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社内 砂発 明 者 稻 垣 ⑪出 頭 人 古士通株式会社 川崎市中原区上小田中1015番地 00代理人 弁理士 育 木 外3名

मा का

1. 発明の名称

光センサ

2. 特許額求の範囲

1. 光線と受光器からなる光センサにおいて、 光線から出射し媒体を透過又は反射した光を前記 受光器に伝信する光ガイドを該受光器に設けたと とを特像とする光センサ。

3. 発明の評細な説明

発明の技術分野

本発明は私新権別設等に用いられる光センサ に関するものでもる。

技術の背景

今来、銀行窓口交務の省力化のために、自動取引鉄器、自動支払機等の自動機が用いられるようになって来ている。とのような紙幣を受入れ又は払出す自動機には、その真偽を刊別する紙幣を 別装置が組込まれている。との紙幣を別装版の紙 新銭別方法には、磁気インクの磁気的検出とか、 またはある物量部分の反射光叉は透過光を検出す る方法などが用いられる。本ி明社技名の選選光 検出に関するものである。

従来は前と問題点

第1回及び第2回は従来の透過光検出方法を 説明するための図であり、それぞれるは舒視図、 bは正面図である。

第1回に示す従来例は、光顔としてLEDTレイ1を用い、紙幣2を透過した光をレンズ3を有するホトタイオートアレイ4により受光するようになっているが、紙幣2が矢印5の方向に最適されるとも値ずれを生ずるため値ずれ板間高6,0分を設けてLEDあるいはホトダイオートを遊択駅動して、停延額域のみの透過光を設出するようになっている。第2回に示す従来例は、光韻としてランプ7を用い、紙幣2を透過した光をカマボコレンズ8及び集光レンズ9を介してCCDセンサ10により設出するようになっている。

このような過過光検出方法において、第1回の 例ではLEDあるいはホトダイオードを選択退動 するために周細方式 (ソフト的) が複雑になり、 またしをD、ホトダイオードはアレイ状にして、 はつね川の特定を上げるために小型のしまり及び ホトダイオードが使われるため、光酸の発光光度 が弱く、ホトダイオードの受光面積も小さくなる ため充分な光出力が待られないという欠点がある。 また第2図の例では難体(紅粉)に含まれるバタ ーンをCCDセンサ上に投影するための光学系が 必要となり装置が大型化するという欠点がある。

発明の目的

本発明は上記従来の欠点に整み、紙幣等の姓 体の特定領域の光学的パターンを検出するため、 健体の模プれに対処し、センサ制御方式の間易化 を計った光センサを提供することを目的とするも のである。

発明の構成

そしてとの目的は本発明によれば、光頭と受 光器からなる光センサ化かいて、光頭から出射し 鉄体を透過又は反射した光を前配受光器に伝播する 光ガイドを眩受光器に致けたことを特徴とする 光センサを提供することによって選成される。

■四に示す契約例は下面にミラーコーティング
20を結した四角性ガラスパルク21で左右の対
向する面に受光器13を取対したもの、も回に示
す契施例はブリメム22で、その一面に受光器
13を取着し、ブリメム内での全反射を利用して
海波するもの、C図に示す契約例は下面にグレーティング23を有する四角性ガラスパルク24で
だ右の対向した面に受光器13を取消し、グレーティングの性質を利用して光を導致するものです。
り、何れも光ガイドと1~2個の受光器と組合わせるだけで、何れの光深からの透過光でも受光器に減くととができ、且つ接近を小型化することができる。

発明の効果

以上、詳細に設明したように本発明の光セン サは受光器に光ガイトを設けることにより、従来 に比して受光器の数を節載し、また制御方式が簡

発明の実施例

以下、本処切実施例を図面によって呼ばする。 那3回は本処別による光モンサを設別するため の図であり、*は斜視図、b は正面図である。同 図において、11はLEDTレイ、12は光ガイ ド、13は受光器をそれぞれ示す。なお14は紙 特等の媒体、15,15 は媒体の様ずれを検出する ための様ずれ検出器をそれぞれ示している。

本実施例は第3図に示す如く、光歌11と受光器13とよりなる透過型の光センサにおいて、光歌11に対向して配収された光ガイド12を受光器13に設けたものである。

とのように格成された本災施例は、数体14を 矢印16方向に搬送してその特定領域の透過光を 校出して媒体の複類を判別するとき、模ずれ校出 表15,15 によって模ずれが検出され、それによって光源11のLEDが特定領域のみ照射するように必択されるが、どのLEDが設択されても、 その透過光は光ガイド12に入射し受光器13に 導かれる。従って従来の如く受光器の選択出動を

単になり紅粉鑑別機等に用いて効果大なるもので ある。なお契備例においては透過パセンツとして 説明したが、本発明が反射型の場合にも適用でき るととは勿論である。

4. 図面の触母な説明

部1 図及び第2 図は従来の光センサを説明する ための図、第3 図は本発明による光センサを説明 するための図、第4 図は本発明による光センサに 別いられる光ガ ∦ ドの実施例を説明するための図 である。

図面において、11は光源、12は光ガイド、 13は受光器をそれぞれ示す。

特許出與人

五 土 通 株 夫 会 社 特价但如代理人

· 乔理士 山 口

96

